

2025 年度 出題の意図

科目名：英語

本試験は大問 4 題で構成され、配点は 150 点である。大問 1 は【読解問題】で、新聞・雑誌記事や人文・社会・自然科学分野の英語文章を読み、筆者の主張や主要なポイントを理解する力を測定する。大問 2 は【会話文読解問題】で、実際の会話場面を想定した英文を読み、口語表現を適切に理解できるかを問う。大問 3 は、【日本語による要約問題】で、英文エッセーの内容を正確に把握し、150～180 字以内の日本語で簡潔かつ的確に要約する能力を測る。大問 4 は【英作文問題】で、質問に対して、正確かつ多様な語彙を用い、100～150 語程度の論理的な英文を構築する能力を問う。大問 1 および 2 はマーク式、大問 3 および 4 は記述式とし、特定の話題や分野に偏らず、既有知識だけでは回答できない構成としている。また、5 日間の試験問題に関して難易度の均衡を図っている。

試験問題は、受験生が高校までに培った基礎的な英語力を確認しつつ、大学で求められる実践的な英語運用能力——すなわち、読む力・書く力・講義やディスカッションへの参加に必要な総合的な能力——を測定することを目的とする。そのため、全体を通して、多様な英文から必要な情報を読み取る力、日本語で正確に要約する力、そして英語で論理的に表現する力を総合的に評価する内容となっている。